

# 日本をキリストへ 協力

17

「日本をキリストへ」  
伝道団体連絡協議会

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1  
TEL 03-3296-1001

## 一つの心になつて

協議会副会長

K・マクビーティ



使徒パウロは、「……あなたがたは一致を保ち、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、志を一つにしてください」（ピリピニ・二）と願っています。

またパウロは、私たちがへりくだって、他の人のことを深く思いやる人になるようにと願っています。心を一つにする。

私たちのさまざまな働きを、それぞれの最高の可能性にまで到達させるためには、私たちの間にこのような心の一致と、そこから流れ出てくる愛の行ないが必要です。

聖書は、私たちが一致すれば、一人ひとりがバラバラでするよりも何倍ものことが成し遂げられるということ、を、明確に語っています。

私たちは、霊的に非常に渴いているこの世に相對しています。また、激しく攻撃してくる敵に相對しています。

聖霊の力によって、そして「一つの心」で、力強い信仰をもって前進しましょう。そうすれば、その結果はどうでしょうか？

パウロのみならず（彼が天国の城壁から見ているとしたらですが）、神さまご自身も喜びに満ちてくださることでしょう。

私たち伝道団体連絡協議会も発足七年目を迎えています。ますます一致して、福音の前進のために働きを続けてまいります。

「私の喜びが満たされるように、あなたがたは一致を保ち、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、志を一つにしてください」

# OCCビル北館の完成

お茶の水クリスチャン・センター専務理事

岸田 馨

「OCCも立派になりましたねえ」とか「お茶の水学生クリスチ教会館から、お茶の水クリスチャン・センターになって、イメージが大部変わりましたね」などと、多くの方からのお言葉をいただき、恐縮しつつもありがたく、「皆様のお蔭さまです」とお礼を申し上げます。

設計、施工管理は松の井建築設計事務所が担当し、工事は南館を担当された白石建設株式会社に依頼しましたが、両社ともに誠心誠意をもって工事にあたり、これを見事に完成してくださったことを深く感謝しております。

八年前、南館が完成したときから、第二期工事の計画がありました。これほどに早く竣工できるとは、人の思いに優る神のみわざのゆえと感謝する次第であります。

とはいえ、その計画は容易なものではなく、容積率の問題から、すでに入居されておられる団体の移転先のこと、その補償に関することなど、その一つ一つがハードルとなって、前進を阻むかに見えましたが、神さまのあわれみによって、それの解決を見ることができました。また、テナントの諸団体の並々ならぬご協力の賜物と、厚く

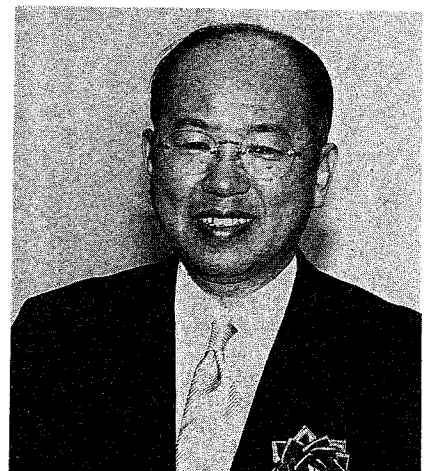
お礼申し上げます。

また、建築の資金計画に際しては、大和銀行の入館が確定し、建築協力として実質的な支援を頂戴できましたことも、大きな感謝であります。

しかし、今回は大方の献金に頼らず、大きな借入金を起こしましたために長期的経営戦略を立てることとなり、理事会としても思い切った決断の必要が生じ、信仰によって一步を踏み出した感を感じております。それゆえ、皆さまの厚いご加禱を切お願いしたいのであります。

建築は、地下一階、地上七階の鉄筋コンクリート構造であり、総坪数約七〇〇坪になります。従来の建物が七〇〇坪でしたので、増減はないのですが、実質的には、高層化したため立体駐車場などを含めて、いくらか増加しております。また、各階のレベルが南館北館共通であるため、階層ごとに広がりが増えました。さらに、八階チャペルにつながる七階部分の屋上がオープン・スペースとして活用できることなど、今後の使い方が楽しみな部分の一つといえましょう。

今回の建築計画に際して、お茶の水クリスチャン・センターとして今後の働きのために、二つの



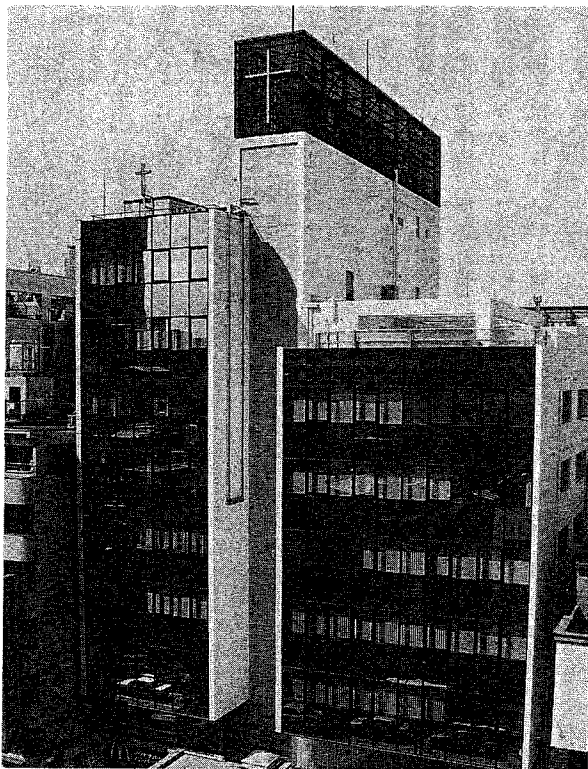
岸田馨師

要素が組み込まれることを期待し、設計を依頼いたしました。その一つは伝道の実践の場所であること。いま一つは、教会教育の励ましの場であることです。

伝道の場所としては、すでに、南館の八階でフライデー・ナイトが開催されていますが、さらに多角的な伝道の接点を求めて、地下一階には、伝道専用スペースが設けられております。OCCは、伝道会に限定して、各種伝道団体に無償提供し、毎晩伝道会が開催されることを期待しております。これは本田弘慈理事長の夢と幻の実現です。また、各神学校の最終学年の伝道実習の場として用いていたことも考えております。

詳細は、直接にOCC事務局にお問い合わせいただきたいと思います。

加えて、昼間は、気密性の高い部屋のメリットを活用してAV機器を駆使し、映像メディアによる憩いの場所という設定で、気軽に立ち寄ってい



完成したOCCビルの全容

ただけるコーナーといたしました。「ストレスの多い現代に生きるあなたに」ということで、一休みできる貴重な機会を提供します。

次に、教会教育の励ましの場としては、OCC北館完成を機に、お茶の水聖書学院(Ochanomizu Bible Institute)を設立します。通称、OBIといえます。どうぞ、よろしくご支援をお願いいたします。

OBIは、新しい時代の信徒リーダー、牧師、伝道者を育成することを主目的とし、信徒の時代、女性の時代にこたえて、将来、伝道を志す器を育成し、家庭、職場にありながら学べる聖書学校を指すものです。

さらに、牧師、伝道師の協力者となって教会の

伝道活動に奉仕する人々のための学びの場とし、伝道、教育活動が多様化しつつある時代の必要に答えるべく、各種の伝道従事者の育成に役立てていただければと願っております。加えて、すでに伝道、牧会にあたっておられる教職者が、自己に与えられている賜物をさらに研鑽するための、継続教育の機会を提供させていただきたいと存じます。

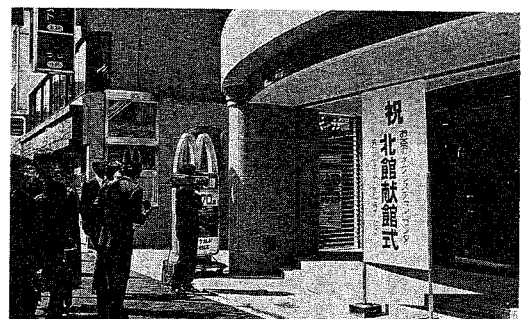
学科は、本科(三ヶ年)、専修科(一ヶ年毎に更新)、継続教育科(一ヶ年毎に更新)、音楽科(教会音楽専攻、一般コース)とで構成されております。

本科、専修科については、聖書学、神学、教会史、実践神学、語学、教育学などにわたり、教派

を超えて著名な牧師先生方が教師陣にお加わりくださることになり、その重厚な陣容とともに大きな関心が寄せられております。

音楽科は、教会音楽専攻と音楽科一般コースがあります。

教会音楽専攻は、音楽をもって主と教会に仕えようという重荷をもっておられる人を対象として教会音楽奉仕者を養成するものです。それは総合コース(一ヶ年毎更新)、



継続的に研究できる場所として活用されることを期待しております。

北館の完成とともに、諸活動の活発な展開を願いつつ、過ぐる三月二十日に献館式が挙行されました。

また、四月二十二日には、お茶の水聖書学院の開校式を行います。当日は、アメリカからパイオラ大学学長クライド・クック博士を迎えて、記念講演会と公開セミナーを開催することになっております。

今後、この場所が福音宣教の拠点として豊かに用いられ、続けて実を結ぶために、皆さまの厚いお祈りをお願い申し上げます。

専門コース(一ヶ年毎更新)とで構成されております。音楽科・一般コースは、声楽コース、声楽アンサンブルコース(女声)、合唱コースで構成されております。また、OBI研究室(五階)を設け、継続教育に関する資料などの収集と管理とともに、

## 活動の報告とお知らせ

### ■六月十四、十五日フェスティバル準備中

来る六月十四日(金)十五日(土)に伝団協主催の第五回フェスティバルを行なうことになりました。

ここ二年は一日フェスティバルという形式で行なってきたが、OCC北館が完成しましたので、それを記念し、今年には展示コーナーも設けて二日間に行なうことに決まりました。実行委員会(総務・姫井雅夫、浅見鶴藏、会場委員長・世良田湧侍、催物委員長・柳沢清)よりお知らせやチラシ、ポスターが行きますので積極的にご利用ください、ぜひ大勢の方に参加していただけるようご協力をお願いします。

四月十日現在決定している8Fチャペルでの催物は、

●江見太郎師(白浜いのちの電話)の婦人講演会(十四日、午前一〇時～一二時)

●本田弘慈師のフライデーナイト・ジョイント集会(十四日、午後六時～八時)

●聖歌隊合唱大会(十五日、午後二時～五時)

催物についてのお問い合わせ・申し込みは

☎03-3294-9095 FAX03-329

4-9305 柳沢(パラビジョン)

また、展示会場と内容は以下の通り。

9F 喫茶コーナー(ヤマザキ出店)

ビデオPRコーナー

展示即売バザールコーナー

8F 展示ブース  
屋外 模擬店コーナー

### ■伝団協・総会のお知らせ

一九九一年度の定期総会が、フェスティバル開催中の六月十四日(金)午後一時～三時、OCC4F会議室で行なわれます。今回は役員改選の年になっており、特に大切な総会ですので、各団体の責任者の方はお忙しい中とは思いますが、万障繰り合わせてご出席をよろしく願います。

### ■二泊研修会のお知らせ

年一回もたれている伝団協の研修会の日程が決まりましたので、お知らせします。今年は九月三十日(月)～十月二日(水)の二泊三日でゆったりとしたプログラムで行ないます。場所は軽井沢恵みシャレー。講師は未定。期待をもって、今からスケジュールをあけていただければ幸いです。

### ■情報交換会開かれる

さる二月五日、新年情報交換会がもたれました。二十二団体より三十三名の参加がありました。各団体の報告を順不同で短く紹介します。

●総動員伝道(姫井師)

今年には茨城、群馬を終了し、新地区(山梨、秋田、岩手)に着手する。

●日本教会成長研究会(小幡師)

ここ二年カウンスリングゼミを開催。熟年老年対象の伝道方策のゼミを今年よりスタート。

●日本キリスト伝道会(原師)

三月より全国縦断伝道。日本伝道の幻を語る会、八月十九～二十一日、天城山荘。

●日本伝道者協力会(渡辺師)

エバンゲリスムの育成とミニストリーの充実のために今後も活動を進める。

●日本福音クルセード(浅井氏)

本田師の健康のために折ってほしい。「グッドニュース」がさらに用いられるように。

●ウォーター・オブ・ライフ(和田氏)

現在までに中国へ五〇万冊の聖書配布。

●太平洋放送協会(岩崎氏)

今年には四十周年。記念行事としての四つのイベントを実施。

●フレンドシップラジオ(渡辺氏)

開局四年目。日曜礼拝番組制作、伝道プログラムの充実、設備のコンピュータ化を図る。

●いのちのことは社(上條氏)

キリスト教大事典出版。ライフセンター仙台、山形店オープン。

●クリスチャン文書伝道団(荒巻氏)

現在全国に十二店。

●日本聖書協会(杉本氏)

世界聖書協会による東欧への聖書配布の展開。

●ゴスペルワールド(芦屋氏)

東京ジャロームより社名変更。

発行日 一九九一年四月二十日

発行者 本田弘慈

編集者 鴻海誠

※誌面の関係で一部のみ紹介